2018年 12月 27日

一般社団法人
日本産業・医療ガス協会

JIMGAnews
第49号

目　次

本部関連の活動スケジュール (2019年1月~2月)

開催日	時間	内容	開催場所
1月15日(火)	16:30~	平成31年 賀詞交歓会	経団連会館
1月25日(金)	15:00~	物流WG会議	JIMGA本部
1月25日(金)	15:00~	炭酸ガス技術WG定例会議	JIMGA本部
1月30日(水) ～31日(木)	—	EIGAウィンターセミナー (テーマ：医療ガス)	ベルギー/ブリュッセル
2月 6日(水)	—	近畿地域本部セミナー	大阪科学技術センター
2月12日(火)	13:30～	環境保全WG会議	JIMGA本部
2月18日(月)	14:00～	安全統計WG会議	JIMGA本部
2月22日(金)	13:30～	東北地域本部高圧ガス保安セミナー	仙台ガーデンパレス
2月26日(火)	—	中国地域本部産業ガス保安セミナー	RCC文化センター
2月26日(火) ～27日(水)	—	第44回IHCシンガポール会議	シンガポール
2月28日(木)	15:00~	ヘリウム技術WG会議	JIMGA本部

※詳細は本部までお問い合わせください。

平成30年度第2回部門理事会･評議員会合同会議について

記者懇談会の様子
（左より川本副会長、今井会長、加藤専務理事）

記者懇談会

11月28日、メルパルク大阪で平成30年度第2回部門理事会・評議員会を開催しました。

会議に先立ち行われた記者懇談会では、今井会長が市場環境および業界動向とJIMGAの活動報告、中でも当面注力する個別課題として「災害対策」「放置容器の撲滅」「MGR認定制度」について説明しました。

質疑応答では、RFタグの普及状況に関する質問に対して、「まだ予定本数には届いていないが小容器への対応等、普及推進を継続する」と回答しました。また消費税増税対応の質問については、「前回の増税時に届け出た『転嫁・表示カルテル』に基づき、各地域調査会にて確実に増税分を転嫁できるように対応していく」と回答しました。

部門理事会･評議員会合同会議

部門理事会・評議員会合同会議では、理事会が産業ガス部門定数10名のうち9名、医療ガス部門定数10名のうち7名が出席、評議員会が産業ガス部門定数37名のうち27名、医療ガス部門定数49名のうち32名が出席しました。

今井会長は挨拶の冒頭で、JIMGA元会長の豊田昌洋氏（エア・ウォーター㈱）の旭日重光章の受章に触れ、同氏が業界の地位向上に大きく貢献されたとして業績を称えました。続いて、9月~11月に実施した各地域本部との意見交換に基づき、各地域の災害対策状況について報告、行政・会員企業・JIMGA本部および地域本部の連携の重要性を強調しました。また、放置容器の危険性を改めて指摘し、ワーキンググループ等でより効果的な予防対策の検討を求めるとともに、会員に対してもJIMGAへの情報提供を呼びかけました。関連して容器の長期停滞防止には、RFタグによる容器管理が有効であることから、改めて会員にRFタグの導入を促しました。

その後、議長に選出された今井会長の進行により、3議案（入会希望事業者審査の件、組織変更の件、規程類整備の件）の審議および決議が行われ、全会一致で承認されました。

報告事項では、医療ガス部門、産業ガス部門の平成30年度上期活動報告および収支計算書報告、ならびに電力問題への対応等が報告されました。詳細は平成31年3月発行の「産業ガ スレポート」に掲載します。

（広報委員会 事務局　石原 智子）

会長挨拶

会員紹介　ー秋酸工業株式会社 秋田工場ー

沿革

新充塡工場外観

秋酸工業株式会社 秋田工場は、株式会社相場商店の100%出資会社として、昭和50年に各種高圧ガスの充塡を主業に営業運転を開始しました。

旧工場は平成3年に一部増改修工事を行いましたが、建築から40年以上が経過し、設備等にも老朽化が目立つようになったため、相場商店ガスセンターに隣接する旧秋田液酸工場跡地に、新工場を建設しました。平成28年9月に着工し、平成29年6月に全面操業を始め、酸素ガス、窒素ガス、アルゴンガス、炭酸ガス、圧縮空気（29.4MPa）の充塡と容器耐圧検査（50MPa）を行っています。

新工場の設備

新工場は旧工場に比べて1.5倍の広さとなりました。設備は安全性や自動化に重点を置きました。充塡所内の設備配置にも工夫を凝らし、天井からの自然光の導入や工場二階事務所の随所に秋田杉を使用するなど、従業員の作業環境・衛生面の向上・省力化を確保した最新鋭の設備になっています。

酸素はCEや充塡室を医療用と工業用に分け、出入口を自動ドア（一部二重）にして粉塵等が入りづらい構造とするとともに、エアコンも設置しました。医療用酸素は、19.6MPaならびに14.7MPa容器を同時に160本充塡できるようにし、室内は土足厳禁としました。医療用酸素の充塡方式を、季節差が出やすい圧力充塡方式から重量充塡方式へと変更し、病院やHOT（在宅酸素療法）向けに盤石な供給体制を整えました。

新工場充塡作業場

東日本大震災の教訓から、長期停電時の医療用酸素供給のため、充填および分析に対応した非常用発電機を備えております。炭酸ガスも医療機関の需要拡大に対応した、医療用二酸化炭素の充填を可能にしました。

工業用酸素、窒素、アルゴンの充填では、遠方より電光掲示板で充填状況が監視できる設備になっております。全ての容器の入庫→充填→出庫の流れは一方通行になっており、効率的な移動が可能になりました。高圧ガスの分析は、配管を施すことにより、サンプリング容器を分析室に持ち運ぶことなく行うことが可能になりました。LGC・カードル充填場は、計量器および左右床に容器運搬用のローラーコンベヤー、天井には2.8トンの横行式クレーンを設けるなど、作業負担の軽減に努めました。容器再検査は、従来型の水槽式に代わり、新たに非水槽式の検査装置を導入したほか、自動塗装装置を配備しました。一般複合容器にも対応した容器再検査設備も設けました。

このように、顧客のニーズの変化に対応するため高品質な高圧ガスを効率よく充填できる設備となっております。

保安について

当社は自主保安の確立と法令遵守のもと、無事故、無災害を目指しております。保安については、毎月社内の勉強会を開催しており、社外の講習会・研修会にも積極的に参加してスキルアップに努めています。万一に備えて、緊急時対応も含めた年一回の構内共同防災訓練を実施して万全な体制を整えています。

安心・安全・高品質なガス製品の安定供給に力を注ぎ、地域産業の発展に貢献していきたいと思います。

（秋酸工業株式会社 秋田工場　工場長　伊藤 広志）

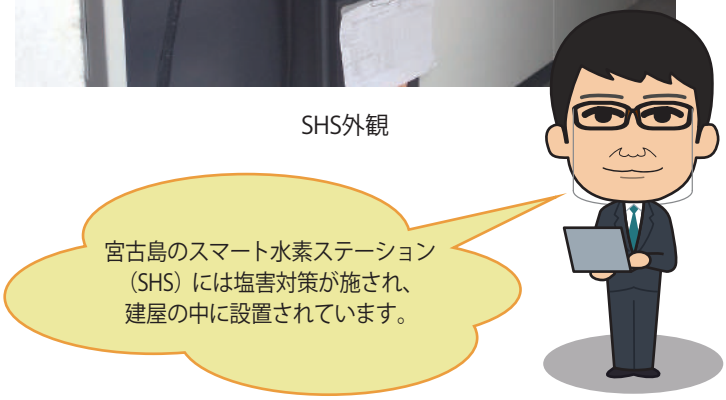
医療用酸素充填場（小容器）

水素技術WG平成30年度研修会

水素技術WGでは12月7日に、今年度第3回技術WG会議を兼ねて、沖縄県宮古島市にて研修会を行い、14名が参加しました。

宮古島は沖縄本島から南西約300㎞、東京からは約2,000㎞の距離に位置し、豊富な自然・景観資源を有しています。

SHS外観



スマート水素ステーションの見学

宮古島市は、2008年の「エコアイランド宮古島宣言」をきっかけに、CO_2排出量を2050年までに2003年比で70%削減する目標を掲げ、さまざまな取り組みを進める中で、2017年7月に沖縄県初、そして日本の離島地域で初のスマート水素ステーション（SHS）が宮古空港で稼働を開始しました。今回は宮古空港を運営する、宮古空港ターミナル株式会社を訪問し、総務部の下地様にご案内いただきました。

既存の太陽光発電システムにSHSを接続する設備では、再生可能エネルギー由来でCO_2フリーの水素を製造します。燃料電池自動車（FCV）「クラリティ FUEL CELL」の運用と合わせて、空港施設のCO_2排出量低減はもちろん、島外からのエネルギー輸送コストなど離島が抱えるエネルギー問題解消の手段の一つとして、エネルギーの地産地消を実現しようとする試みだそうです。

本施設では、水素を製造する「高圧水電解システム」、水素を貯蔵する「蓄圧タンク」と燃料電池自動車に水素を供給する「ディスペンサー」などが一つにパッケージングされており、製造量は1.5kg／日、常用圧力は35MPaとなっています。

クラリティ FUEL CELL

また塩害対策のため、SHSは建屋の中に設置され、水素製造には除塩フィルターを通した空気が利用されています。供給される電気はすべて、貨物ターミナル屋上のソーラーでまかなわれています。

エコ関連施設の見学

水素エネルギー社会についての説明パネル

宮古空港ターミナル㈱の見学後は、島内にあるエコ関連施設を見学し、エコパーク宮古⇒バイオエタノール製造施設⇒地下ダム資料館⇒メガソーラー実証施設を順に巡りました。

中でも地下ダムは興味深いものでした。サンゴ礁が隆起してできた石灰岩から成る宮古島では、かつては土壌面から浸透した降水（地下水）が海へ流れ出していましたが、それを地下でせき止めるようにしたのが地下ダムです。資料館では、大型地下ダムの建設技術や構造、地下水のメカニズムを映像や模型で見学しました。

WG会議

見学後、平良港ターミナルビル研修室に移動して技術WG会議を行いました。

会議では、今期取り組んできた、「水素ガスハンドブック改訂版」の完成についての報告および水素スタンドに関連する今後の活動テーマ等に関して協議を行い、とても充実した一日を終えました。

世界的な地球温暖化対策の流れの中で水素技術は注目を集めており、今回の研修ではエネルギー環境の向上がますます期待されていることを改めて実感しました。

（水素技術WG 事務局　山本 卓也）

研修会参加メンバー

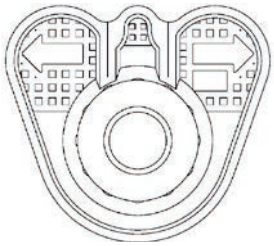
医療ガス部門からのお知らせ

封キャップの販売開始について
～1 月７日から発送を開始します～

JIMGA 医療ガス部門

○ 発送開始について

2018 年 12 月 3 日から受注を開始しましたところ多くの会員様からのご注文をいただきました。厚く御礼申し上げます。1 月 7 日から受注内容に基づき順次製品をご指定の場所に発送致します。通常は注文から 5 営業日程度でお届けできる予定ですが、1 月出荷分に限り少々お時間をいただく可能性がありますのでご了承ください。お急ぎのご用命であれば注文書の備考欄にその旨をお書き添えいただきますようお願い申し上げます。



○ ご購入について

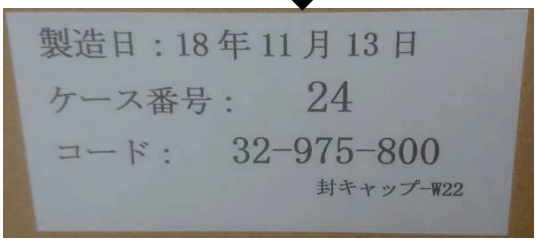
最小発注単位は 6,000 枚となりますので、所定の注文書にご記入の上、6,000 枚単位でご注文ください。注文書は、医療ガス部門のホームページ／出版物／封キャップにも掲載しております。また、製品に関するご意見ご要望がありましたら、今後の製品改良の参考とさせていただきますので、右記までお寄せください。E-Mail：info@jimga.or.jp　担当：田邉・城

○ 梱包と表示について

＜外箱：段ボール、内包：ビニール袋＞

外寸：縦 500mm×横 600mm×高さ 400mm

品 名	封キャップ-W22
入 数	6,000入
ロット NO.	



ロットNo.：製造年月日＋ケース番号
（表示のコードは、管理番号）

会員の皆様におかれましては、「封キャップ-W22」の積極的なご採用を何卒お願いいたします。

【封キャップ】注文書

注文書送付先 一般社団法人日本産業・医療ガス協会 医療ガス部門　本部　TEL:03-5425-1188	FAX: 03-5425-1189	E-Mail: info@jimga.or.jp

※最小発注単位は6,000枚です。以下の箱数欄に箱単位でご記入下さい。

注文内容	発 注 日	年	月	日	(送料・梱包手数料別)(単位:円)		
No.	商　品　名	箱数	入数	注文枚数	税込価格(1枚当り)	本体価格(1枚当り)	消費税(8%)
1	封キャップ-W22		6,000		3.888	3.6	0.288
合　計							円(税込)

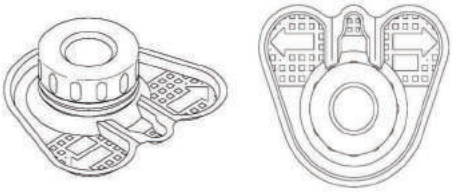
送付先

住所	〒		
会社名		部署名	
電話番号		FAX	
担当者名		E-Mail	

請求書送付先　(上記送付先と異なる場合のみご記入ください。)

住所	〒		
会社名		部署名	
電話番号		FAX	
担当者名		E-Mail	

封キャップ-W22



<荷 姿>

外寸:縦500mm×横600mm×高さ400mm

品名	封キャップ-W22
入数	6,000入
ロットNO.	

(例)
製造日:18年11月13日
ケース番号: 24
コード: 32-975-800

ロットNo.:製造年月日+ケース番号
(表示のコードは、管理番号)

※「封キャップ-W22」の新品を第三者が入手し悪用されないよう製品の管理には十分注意をお願いいたします。

備考	通常納期) 5営業日程度お時間を頂いております。

2019年1月

新事務局員の紹介

名　前： 城　久尚（じょう　ひさなお）
現住所： 東京都品川区
生年月： 1967年 8月
略　歴： 1993年 4月　大同ほくさん㈱ 入社 堺研究所勤務
1999年 7月　大同ほくさん㈱ ガス化学研究所
2007年7月　エア・ウォーター㈱ 総合開発研究所(松本)
2011年 7月　エア・ウォーター㈱
医療カンパニー医療機器センター
2016年 7月　ミサワ医科工業㈱ 代表取締役社長
2017年 4月　斎藤医科工業㈱ 代表取締役社長
2018年11月　JIMGA 医療ガス部門 常務執行役員

趣　味： ランニングが趣味です。土日にまとめて走っていますが、新たな土地を走るようになり、とても新鮮でワクワクしています。

抱　負： 着任時は慣れない仕事に対する戸惑いもありましたが、1か月経過し、少しずつ業務にも慣れてきました。器用な方ではないので、一生懸命やることしかできませんが、今の気持ちを忘れることなく、がんばって参ります。

ホームページのリニューアルについて

JIMGAホームページは、2014年にトップページを更新した後、コンテンツを増やすなどのマイナーチェンジを繰り返してきましたが、逆にサイト構造が複雑化してしまい、欲しい情報になかなかたどり着けなくなっています。

会員の皆様が必要とする情報をタイムリーに提供することを第一に、実際に活用されている情報へのアクセスをシンプル化、また関連情報も併せてご提供できるサイトに大改造しようと考えています。

会員の皆様からも是非ご意見をいただきたく、下記URLに簡単なアンケートを掲示しております。ダウンロードのうえ、メールあるいはFAXにて広報委員会事務局までご回答のほどお願いいたします。

http://www2.jimga.or.jp/dl/kyokai/jimga_form.pdf

（広報委員会 事務局）

アンケート用紙
イメージ

編集・発行／一般社団法人 日本産業・医療ガス協会 産業ガス部門
〒105-0012 東京都港区芝大門２丁目８番13号 サクセス芝大門ビル４階　TEL.03-5425-2255 FAX.03-5425-2256